

発行 豊頃町
〒089-5392
中川郡豊頃町茂岩本町125番地
☎015(574)2216
発行日 2023年5月31日
編集 豊頃町企画課広報情報係

今月の表紙



『「いつか」にそなえて「いま」準備。』いつ起こるか分からない災害。その時に備え毎年大津地区を対象に避難訓練を実施。今年は121人参加し、避難方法について今一度確認しました。

役場などの連絡先

- ◆役場
☎(574)2211(代表)・FAX(574)3750(総務課)
- ◆各課等(ダイヤルイン)
総務課☎(574)2211
住民課☎(574)2213
福祉課☎(574)2214
施設課☎(574)2215
企画課☎(574)2216
産業課☎(574)2217
農業委員会☎(574)2218
議会事務局☎(574)2222
教育委員会(教育課)☎(579)5801
教育委員会(図書館)☎(579)5802
- ◆支所・出先機関・町内関係機関
大津支所☎(575)2021
こどもプラザとよころ☎(574)3931
保健センター☎(574)3141
給食センター☎(574)4600
社会福祉協議会☎(574)3143
ココロコテラス☎(578)7202
- ◆地域情報通信基盤施設の故障受付窓口
NTT 東日本データセンター ☎0120(860)023
[24時間365日受付]

ホームページ

豊頃町 <https://www.toyokoro.jp/>
豊頃町社会福祉協議会 <http://toyokoro-shakyo.com/>

豊頃町の人口と世帯

4月30日現在(前月比)
住民基本台帳に基づく

人口	2,971人(+13)
男	1,444人(+8)
女	1,527人(+5)
世帯	1,474世帯(+12)

町内の交通事故

交通事故死ゼロ1,720日
令和5年1月1日
～5月10日(前年比)

発生	1件(+1)
死者	0人(0)
傷者	1人(+1)

目次 CONTENTS

大津地区津波住民避難訓練が行われました

- 広報とよころ
- 04 豊頃町立豊頃医院の医師が変わります
はるにれは見ていた
 - 07 新型コロナワクチン接種のお知らせ
 - 08 特集 豊頃の台所事情
 - 10 健康だより 駐在だより
 - 11 空き家・空き地活用事業補助金 ほか
 - 12 税金は納期内に納めましょう
 - 13 国民健康保険税の税率について
 - 14 後期高齢者医療制度のお知らせ
 - 15 国民年金からのお知らせ
 - 16 みんなの図書館
 - 17 我が家のアイドル 町民文芸
 - 18 とよころ新聞

議会だより

- 19 新たな議会構成を決定
- 20 新議会構成一覧
- 21 第1回臨時会 議会日誌

社協だより

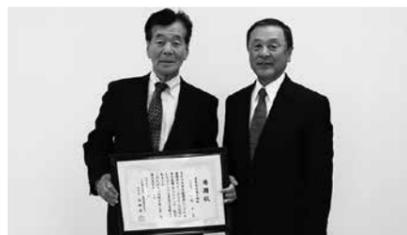
- 22 キッズボランティア
- 23 令和5年度事業計画
- 24 令和5年度しゃきょう収支予算
- 25 フィットネスカフェ ほか
- 26 キッズボランティアの様子 ほか
- 27 ふれあいフェスティバル開催予告

役場だより

- 28 INFORMATION ◎目次あり
主な施設の行事予定 ほか

裏 とよころカレンダー

有限会社協立機興へ感謝状贈呈

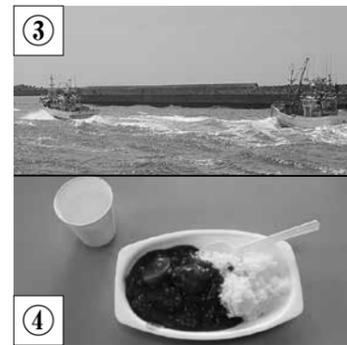


5月17日、地域貢献の一環として、とよころ荘周辺の緑地整備を行った、有限会社協立機興(山保崇代表取締役)へ、とよころ荘にて豊頃愛生協会石塚周二理事長から感謝状が手渡されました。



①

- ①津波緊急避難場所へ行政区ごとに集合している様子
- ②避難所へ向かう消防団車両と避難車両(大津市街交差点)
- ③サイレン吹鳴後、漁港から出港する漁船の様子
- ④炊き出しで提供されたカレーライス



③



②

大津地区津波住民避難訓練が行われました

マグニチュード8以上を想定
5月12日、大津地区津波住民避難訓練が、大津連合区長会や大津漁業協同組合(中村純也組合長)の協力のもと、実施されました。

この訓練は、十勝沖地震(マグニチュード8以上)が発生し大津波警報が出されたことを想定した訓練で、大津波警報を知らせるサイレン吹鳴後、避難場所である国道336号に面して設けられた「津波緊急避難場所」へ避難するものです。

当日は、大津波警報を知らせるサイレン吹鳴後、地域住民の方々は自家用車や乗り合いで津波緊急避難場所へ避難し、大津保育所や大津小学校の子どもたちも教職員らと共に津波緊急避難場所まで同様に避難しました。避難した児童らは「去年よりも早く避難することができた」「本当に津波がきたときにちゃんと逃げられそう」と話し、防災力の向上がうかがえました。

一方、大津漁港では沖出し訓練が行われ、サイレン吹鳴後、集まっていた漁船は次々と出港し、沖に向かっていきました。

今回の参加者は全体で約121名で、それぞれ避難経路や持ち物の確認などを行い、訓練の大切さを改めて実感した様子でした。

町の避難対策について説明
避難完了後、大津コミセン2階で町総務課危機対策係の木幡係長から、町が実施する大津地区における津波避難対策事業について説明が行われました。これまでに、トンケシ津波緊急避難場所の整備など行ってきましたが、令和5年度以降は、国道336号津波避難所に向かう道路寸断などを想定し、港からトンケシ津波緊急避難場所へつながる避難路を含む3路線の整備や津波救命艇の整備を実施予定であると説明がありました。

避難者への食事提供
今年、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していた、大津地域づくり協議会による炊き出し訓練を再開し、訓練参加者にカレーライスが提供されました。

「いつか」に備える
今回の避難訓練を終えて、按田町長は「ここ最近各地で地震が起きているが、日本海溝・千島海溝沖の巨大地震が本当に起きるのではないかと感じている。町も昨年から大津地域を中心に防災対策をしているが、地震・津波は、いつか必ず来るんだという意識を常に持っているだけで、有事の際に備えていただきたい」と話しました。